

無線機について（１）

1 無線機の特性

（１）特性

「無線機」から「無線機」へ直接通話ができるため、場所や停電を問わずいつでも通信ができます。

（２）通達距離

市街地0.5～1 km程度、郊外3～4 km程度です。途中に壁があっても通信は可能です。遮蔽物が多いと1 kmの距離も届かないことがあります。

（３）通信時の注意

信号はデジタル処理されるため、変換に少し時間がかかり、最初の言葉が切れる状況が発生します。

（４）留意点

- ① 通話するためには、無線機の設定を合わせる必要があります。
- ② 三重大学以外でも使用しています。（秘話設定等ができます）
- ③ 1台の無線機が送信する（PTTスイッチを押す）と、他の無線機は聞く状態（傍受）となります。
※ 無線網図にある無線機は、同時に聞くことができます。
- ④ 付属のリチウム電池で約10時間、乾電池使用で約1時間使えます。

無線機について（２）

２ 三重大学の無線機の使用

（１）無線機の設定

①CH（チャンネル）②UC（ユーザーコード）③秘話コードを合わせて使用します。

（２）無線機の使用統制

同時に送信すると混信し、通信ができなくなります。3台以上で使用する際は、無線網図（別紙２）の頂点にある通信局を統制局として通話を統制するようにして下さい。

（３）送信時の特性

デジタルによる通信のため、PTT（送信）スイッチを押した直後に話すと頭切れを起こしますので、一呼吸置いて発声します。

（４）無線機の日常業務での使用

スマホや携帯電話とは異なるので慣れが必要です。災害時に役立たせるため、日頃から業務に活用して下さい。また、事前に無線が通じやすい場所を確認することで、移動間でも通信に適するポイントとして活用できるように部局内で共有を図って下さい。

無線機について（3）

3 無線機の設定・・・別紙1「無線機DPRの取扱い要領」

（1）電源を入れる。音量調整をする。

（2）CH（チャンネル）の設定

（3）UCコードの設定

（4）秘話機能の設定

（5）その他の機能の解除

（6）表示部説明

無線機について（４）

3 別紙について

（１）別紙１「無線機DPRの取扱い要領」

「無線機について（３）」で説明した内容です。

（２）別紙２「××部局隊無線網図」

部局隊で運用する全ての通信局（無線機）の名称・呼出名、無線系のCH、UCコード、秘匿コードが記載されています。三角形の頂点にある通信局が統制局となり運用系の無線通話と統制します。

（３）別紙３「××部局隊「災害対策編成表」

無線機を使用する班の名称、職員の名前を載せており、本部が行動している班の構成職員を確認することができます。

（４）別紙４「通信訓練（連絡通話）」

無線機を使用して移動する前に、無線機の使用に問題がないか確認するために行います。声が聞こえる範囲で行います。

（５）別紙５「通信訓練（搜索時）」

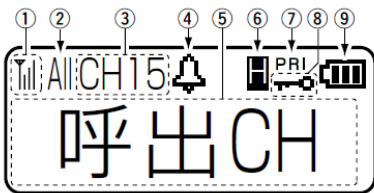
無線機を移動中に使用する一例です。通話内容が分かりやすく、かつ短く通話します。

（６）別紙６「デジタル簡易無線機部局アンテナ接続要領」

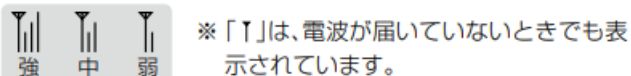
長いアンテナを接続する方法です。搜索範囲が広く通話内容が通じにくい時に設置します。

無線機DPRの取扱い要領

表示部説明



①電波状態表示
受信している電波の強度を3段階で表しています。



②個別呼び出し(ALL)モード
個別呼び出し機能が設定されているときに表示

ALL：全局呼び出しとなる項目が表示されているとき

：相手からのグループ呼び出しを受けたとき、着信を許可するグループ番号が表示された時

③操作状態の表示
通話チャンネル表示や音量表示以外の内容を選択したとき、通話チャンネルを③の部分に表示されます。

FUNC：機能キー
EDIT：設定キー

④ベルの解除

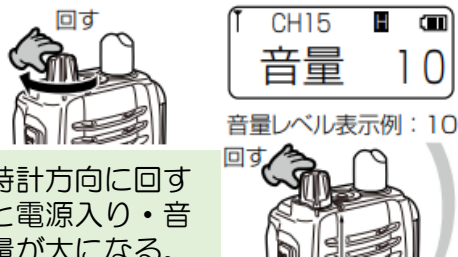
個別呼び出しを受けた時に点滅

⑤ [相手局番号/設定内容] 表示
音量、CH、UC、秘話、セットモード、詳細セットモードで選択した設定項目を設定内容

- ⑥5W/1W：送信審出力
- ⑦プライベートチャンネル表示
- ⑧ロック機能表示
- ⑨電池残量表示

無線機の設定

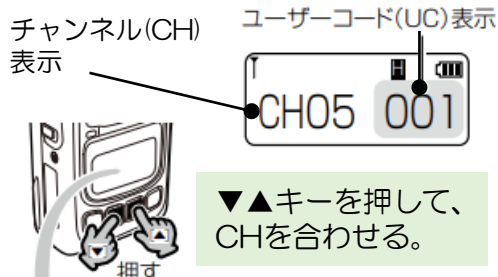
電源を入れる。音量調整



時計方向に回すと電源入り・音量が大きくなる。

※ 当初音量を15に合わせ、その後適切な音量に調整

CHの設定



▼▲キーを押して、CHを合わせる。

ユーザーコード(UC)の設定

機能キーを押して右の画面を出す。

▼▲キーを押して、UCを編集する。

※ 設定キーで桁を変更できます。

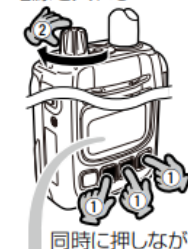
秘話機能の設定

機能キーを押して右の画面を出す。

設定キーを短く1回押して右の画面を出す。

④ベルの解除

電源を入れる



①機能キー、▼、▲キーを同時に押しながら電源を入れる。
DPR3は機能のみ押しながら電源を入れる。

②全てのキーから手をはなす。

MODE CHG

③機能キー短く押す

③すぐに機能キーを短く押す。

SET SET

※ 「MODE CHG」が表示されない場合は手順①からやり直す。

設定項目表示

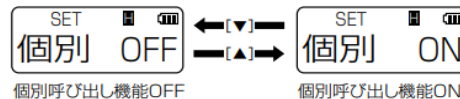
SET Pビープ OFF

④Pビープ OFFにする。

②ALLを解除する(個別呼び出し機能の解除)

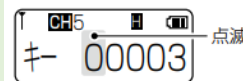
上記「SET」後

- ①機能キーを繰り返し短く押して、「個別ON」表示を選択する。
- ②▼を押し「個別OFF」にする。



※ 個別呼び出し機能を使用しているすべての無線機の設定をOFFにする。

設定キーを短く2回押すと編集できる桁が点滅
※ キーを押すことに桁が変更

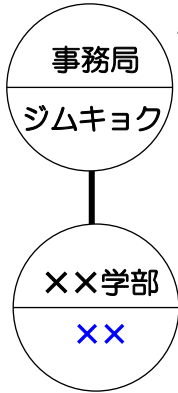


▼▲キーを押して、編集する。

通信網図の一例です。
 橙色は説明です。

××学部部局隊無線網図

三重大情報・対策系

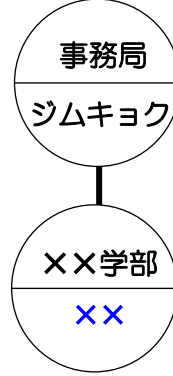


使用目的
 ・被害情報の伝達・共有
 ・対策の徹底と実行確認

使用無線機：DU-65
 使用チャンネル：Ch 別示
 予備チャンネル：CH 別示

三重大学通信系

三重大人事・補給系



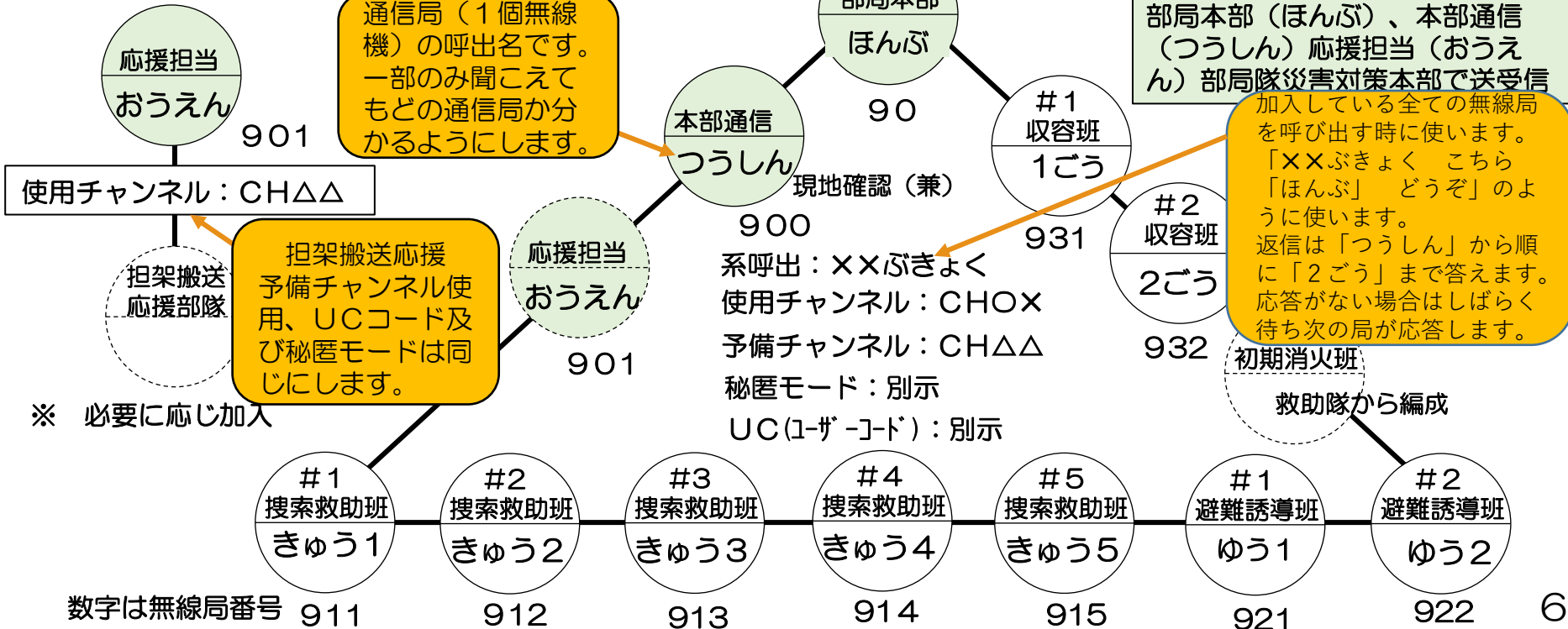
使用目的
 ・人事関係情報の共有（負傷者情報を含む）
 ・物資関係の状況把握・調整

使用無線機：DPR-6
 使用チャンネル：CH 別示
 予備チャンネル：CH 別示
 秘匿モード：別示
 UC(ユザ-コード)：別示

××緊急系

××学部運用系

××部局隊通信系



××部局隊災害対策編成表

部局隊で作成します。

部局隊本部

無線	氏名	備考
情報		部局隊長
		副隊長
90		総括
901		総務・対策
		総務・対策
		情報
人事		通信
		安否
		補給
		安全・衛生

CH△△：緊急時に901その他必要により加入

1 搜索救助班

無線	氏名	備考
911		班長

2 搜索救助班

無線	氏名	備考
912		班長

3 搜索救助班

無線	氏名	備考
913		班長

4 搜索救助班

無線	氏名	備考
914		班長

5 搜索救助班

無線	氏名	備考
915		班長

担架搬送応援部隊（臨時）

無線	氏名	備考
		長

1 避難誘導班（A校舎）

無線	氏名	備考
921		班長

2 避難誘導班（B校舎）

無線	氏名	備考
922		班長

1 収容班

無線	氏名	備考
931		班長

2 収容班

無線	氏名	備考
932		班長

連絡通話は必ず行ってから、現地に行きます。

通信訓練通話（案）

連絡通話訓練

訓練場所：訓練参加者の操作が確認でき、音の干渉が起きない広さ

実施要領：各人無線機を1台持ち、CH・UC・秘匿を併せる。

90の統制のもと、通信局（1台）毎、送受信

無線局運用規則の和文通話表

1は「ひと」2は「に」3は「さん」4は「よん」5は「ご」6は「ろく」7は「なな」8は「はち」9は「きゅう」0は「まる」

1 連絡通話（集合して確認又離れる前に確認）

送信者	受信者	通話内容（送信/返信）	備考
90	全通信局	××びぎょくこちら ほんび 連絡通話を行います。 つうしん から送信してください。どうぞ	
090	90	ほんび こちら つうしん 聞えますか どうぞ /こちら ほんび 良く聞こえます。つぎどうぞ	
901	90	ほんび こちら おうえん 聞えますか どうぞ /こちら ほんび 良く聞こえます。つぎどうぞ	
911	90	ほんび こちら きゅう1 聞えますか どうぞ /こちら ほんび 良く聞こえます。つぎどうぞ	
912	90	ほんび こちら きゅう2 聞えますか どうぞ /こちら ほんび 良く聞こえます。つぎどうぞ	
913	90	ほんび こちら きゅう3 聞えますか どうぞ /こちら ほんび 良く聞こえます。つぎどうぞ	
914	90	ほんび こちら きゅう4 聞えますか どうぞ /こちら ほんび 良く聞こえます。つぎどうぞ	
915	90	ほんび こちら きゅう5 聞えますか どうぞ /こちら ほんび 良く聞こえます。つぎどうぞ	
921	90	ほんび こちら ゆう1 聞えますか どうぞ /こちら ほんび 良く聞こえます。つぎどうぞ	
922	90	ほんび こちら ゆう2 聞えますか どうぞ /こちら ほんび 良く聞こえます。つぎどうぞ	
931	90	ほんび こちら 1ごう 聞えますか どうぞ /こちら ほんび 良く聞こえます。つぎどうぞ	
932	90	ほんび こちら 2ごう 聞えますか どうぞ /こちら ほんび 良く聞こえます。	
90	全通信局	××びぎょくこちら ほんび 連絡通話を終了します。おわり	

※ 赤字は呼出名称で数字で表すことも可能です、901は当初部局系に加入しているとして行っています。

2 連絡通話（通信局を呼び出す時）

送信者	受信者	通話内容（送信/返信）	備考
90	915	きゅう5 、 きゅう5 、 きゅう5 こちら ほんび 、 ほんび 、 ほんび どうぞ	くり返しは3回以下
915	90	ほんび こちら きゅう5 場所を移動、聞えますかどうぞ/こちら ほんび 聞えます おわり	

※ 聞きづらい時、少し場所を変えると通話できることがある。

2 検索時

通信訓練（検索時）

送信者	受信者	通話内容（送信/返信）	備考
915	90	ほんびこちらきゅう5 11棟到着、ものが散乱していますが、負傷者はいません。どうぞ	
90	915	きゅう5こちらほんび 11棟負傷者がいないこと了解しました。次は、22棟の点検をして下さい どうぞ /こちらきゅう5了解しました22棟に向かいます。おわり	90の統制下で行動
915	90	ほんびこちらきゅう5 11棟異常なし、次は22棟へ向かいます。どうぞ /きゅう5こちらほんび 了解 おわり	計画的に搜索実施 通信が短い例

3 検索時（負傷者発見担架応援）

送信者	受信者	通話内容（送信/返信）	備考
915	90	ほんびこちら 22棟2階に意識のない負傷者がいます。担架をお願いします。どうぞ /こちらほんび 了解しました。担架付リヤカーを向かわせます。どうぞ	
915	90	こちらきゅう5 担架は2階までお願いします。/こちらほんび 了解しました。きゅう1が応援します。 事後、きゅう1はCH△△で通話して下さい。どうぞ/こちらきゅう1了解しました。おわり	CHOXで通話
911	901	おうえんこちらきゅう1 負傷者を収容、意識はありませんが、呼吸・脈拍ともあります。出血は有りませ せん。附属病院まで搬送します。どうぞ /こちらおうえん 附属病院まで搬送了解しました。おわり	緊急系CH△△で通話

4 検索時（負傷者発見・搜索終了）

送信者	受信者	通話内容（送信/返信）	備考
915	90	ほんびこちらきゅう5 22棟に負傷者がいます。足から出血し1人では動けません。1名が付添い第 1救護所へ向かいます。/こちらほんび 了解しました。応援が必要ですか。どうぞ /こちらきゅう5 必要ありません。搜索を継続します。おわり	
90	全通信局	××びきょくこちらほんび 搜索可能時間の終了が迫っています。継続している搜索を早く終了して ください。応援が必要あれば連絡下さい。どうぞ	
90	全通信局	きょういくびきょくこちらほんび 終了後はほんびまで異常の有無を連絡下さい。どうぞ	

6 無線局の統制要領

送信者	受信者	通話内容（送信/返信）	備考
90	全通信局	××びきょくこちらほんび 全通信局送信待て、混信が発生事後の通信を統制する。 きゅう1こちらほんび はじめきゅう1から送信 どうぞ	
911	90	ほんびこちらきゅう1 了解した。～ 要件 ～ おわり / 次きゅう2 どうぞ	

※ 混信した場合、通信がつかないため、繰り返し送信を待つよう発信する。

デジタル簡易無線機部局アンテナ接続要領

アンテナ接続1

- アンテナ接続要領
- ①無線機に付いているアンテナを外す。
 - ②アンテナAZ350MSPをM型中継コネクタに接続
 - ③M型中継コネクタとM型ケーブルをつなぐ。
 - ※1ケーブルの長さが不足の場合更にM型ケーブルで延長
 - ④M型ケーブルと変換コネクタを繋ぐ。
 - ⑤変換コネクタと無線機を接続
 - ※2コネクタとケーブルの接栓のオスとメスに注



コネクタ説明
 M型コネクタ：MP (プラグ：オス)
 M型コネクタ：MJ (ジャック：メス)
 SMA-Pコネクタ：デジ簡無線機に直接接続

アンテナ接続2

- アンテナ接続要領
- ①無線機に付いているアンテナを外す。
 - ②MR350についている接栓を無線機に接続



凡例 ●—● 接続